高教組情報

特別号

2019年9月30日

長崎高教組 長崎市中川 2 丁目 2-5　TEL(095)827 － 5882

文責　寺田　杉

県教委が高校入試制度の改変方針を公表

推薦入試をなくし 前・後期選抜制へ

県教委は 9 月 13 日、現在の中学 2 年生が受検する来年度の高校入試から、全日制と定時制昼間部の入試を改変する方針を明らかにしました(県教委のホームページに「公立高等学校入学者選抜制度の改善方針」と題してアップされています)。県教委との折衝で高教組が得た情報も含めて、その概要をお伝えします。

県教委は「希望者全員が公立高校の入試を２回受けるチャンスを得る」と説明

改変の中心点は、現行の推薦入試(２月)と一般入試(３月)という形から前期選抜と後期選抜という形になり、推薦入試がなくなる点です。中学校からの推薦が不要になるので、だれでも前期選抜を受検できるようになります。県教委は「希望する全ての生徒が、公立高校の入試を２回受けるチャンスを得ることになる」と説明しました。

前期選抜の選抜方法は 基礎学力検査を含む複数の選抜方法から各学校が選択

前期選抜は「特色選抜」と「文化・スポーツ特別選抜」に分けられ、「特色選抜」の選抜方法は、県教委が作成する基礎学力検査(国数英)、面接、実技、プレゼンテーション、作文･小論文の中から各高校が選択する(複数も可)ことになっています。「文化・スポーツ特別選抜」の場合は、上記からプレゼンテーションを除いた選抜方法から選ぶ(複数も可)ことになっています。

前期選抜の定員は総定員の5～50％ 後期選抜では志願変更・選択問題は廃止

定員については、前期選抜全体で総定員の 5 ～ 50 ％の範囲で、各校が学科ごとに決めることになっています。また、「文化・スポーツ特別選抜」の定員について県教委は､現在の「特推」の「各校 5 人以内」から拡大する方向で検討していると説明しています。

また、入試を２回受けることができるので、後期選抜では、これまで実施していた志願変更や学力検査での難易度の異なる選択問題(数英)は廃止することになっています。

改変の目的及び背景

県教委は改変の目的を「生徒が主体的に学校を選ぶことができ、生徒の学ぶ意欲や多様な能力が評価される」入試にすることと説明しています。それに加えて、中学校から、推薦のための校内選考や実務等の負担が大きいとして改善を求める声が出ていたこと、高校からも、推薦で入学した生徒の学力面についての問題が指摘されていたこと等を改変の背景として説明しました。

現場の声を高教組にお寄せください

今後、各学校での具体的な検討が急がれますが、様々な疑問や問題点が出てくると考えられます。高教組は県教委と折衝を行い、現場の教職員の疑問や要望に応えることを求めますので、この問題についての疑問や意見を高教組にお寄せください。

※高教組新聞には、もう少し詳しい内容を掲載しています。お読みになりたい未組合員の方は職場の高教組組合員にご相談ください。

☆現場の教職員の声を県教委にぶつけることができる高教組への加入をお待ちしています